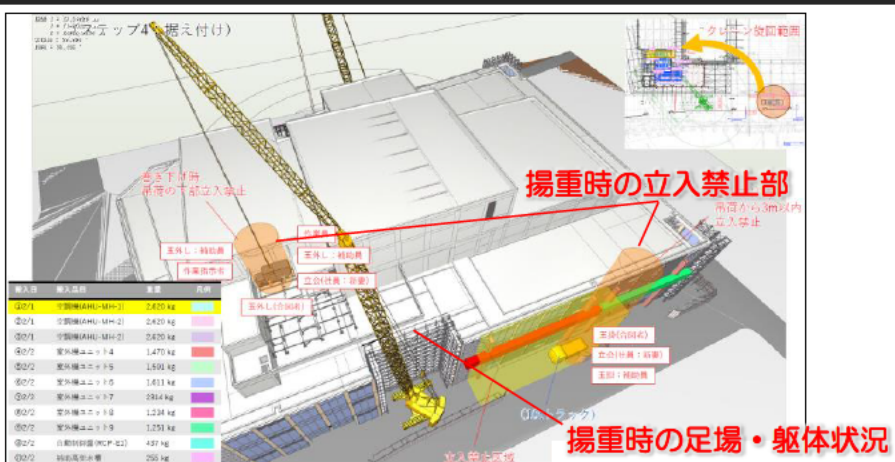


■ BIMによる機器揚重時リスクの見える化



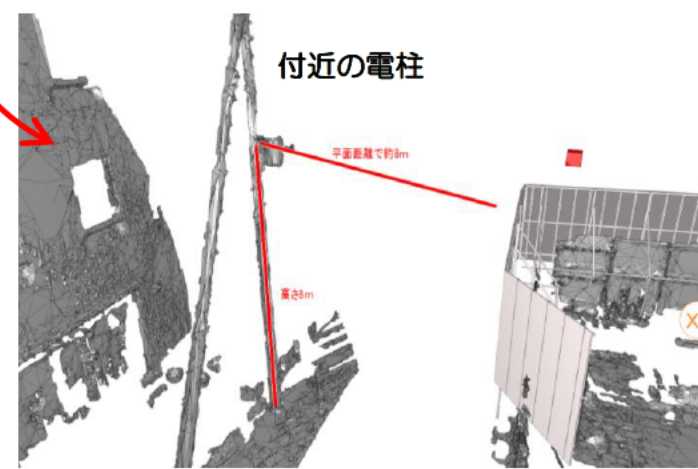
現場状況と一致したモデルで計画立案・リスク検討



3Dモデルを用いた現地KYでリスクを共有



周辺状況を3Dスキャンし、モデルに反映



架空線や仮設物を見える化し、リスクを顕在化

➡ 3Dモデルの活用により施工イメージを把握でき、より具体的なリスクアセスメントの実施が可能となった